

令和3年1月例会 怒塚山(332m)岡山市、金甲山(403m)岡山市・玉野市 2等三角点

実施日 2021(令和3)年1月20日(水) 大寒

天候 快晴

参加者 CL 近藤嗣 SL 井上、真野、山本信

船越 小林陽 山本廣 佐藤綾 佐々木 近藤浩 高井 森田 藤川豊 藤川神 梶原 永谷  
墨江 前田 喜多 小林東 秋山 野田 (22名)

行程 怒塚山・郡登山口 開会行事(9:15~9:30) → 七合目展望所・分岐 → 中電36鉄塔(10:00) → 怒塚山頂上(10:40~10:50) → 電発127鉄塔(11:20) → 中池分岐・三角点「甲ノ上」 → 金毘羅宮(11:50) → 金甲山北展望所・駐車場 → 金甲山頂上・昼食(12:00~12:45) → 石碑群・南展望所 → 北展望所 → 金毘羅宮・誠徳院分岐 → みつがしわ新道 → 地蔵尊 → 誠徳院(14:00) → 清水池・石門 → 中池 → 郡登山口 閉会行事(15:00~15:10)

概要 各11名の2班編成で郡登山口を出発、五合目展望所では、大山をもとめるが山影は確認できず、7合目分岐からは鉄塔巡視路と別れ、会員の手で整備された巻き道から中電36鉄塔を経て怒塚山頂上に到着。東に貝殻山・八丈岩山・犬島・小豆島を、南東に金甲山、南西に讃岐富士・大槌島・小槌島、西に常山・鴨川・倉敷川を望むも大山は見えず。小休止した後、一旦208mまで下ってから電発巡視路を127鉄塔(232m)、中池コース分岐点(261m)、続いて開拓路を登り返して金毘羅宮(320m)に参拝。参詣道を経て県道399を横切り金甲山北展望所・駐車場で児島湖・岡山市街を展望し金甲山頂上へ。旧レストハウス屋上で写真撮影。ここから南に見える瀬戸内の島々や四国の山々は美しい。昼食後石碑群・南展望所・石段古道を経由して再び北展望所に戻ってきたところ北北西岡山空港の上に大山が大きくくっきり見えてきた。先行する1班を呼び戻して白い大山や県北の雪山の大パノラマを満喫。金毘羅宮・誠徳院分岐まで下りみつがしわ新道を地蔵尊へ、続いて最近会員が草木の伐採など整備をした谷筋を渡河点まで下る。ここから電柱管理道を誠徳院まで下り、中池、地蔵尊に刻まれている陸(くが)地区を通り登山口に全員無事に帰着して解散。(山本信記)



岡山空港の上に白い大山

今回歩いたコースは、国立公園である金甲山頂上付近以外は、みつがしわ山の会の先輩澤本利康さんが2002(平成14)年に開拓をはじめ、その後山田成一さん、三浦君子さんが加わり会員三人を中心に愛好者と協力して開拓整備を続けてきた文字通り手作りの登山道です。

最近では登山誌やネットで金甲山登山の標準コースとして認知されるようになり、郡登山口には多くの駐車が見られるようになりました。先輩方に感謝するとともに、これからもこのコースは私たちみつがしわの後輩で整備維持を継承していきたいと思っています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。(井上、山本信記)